

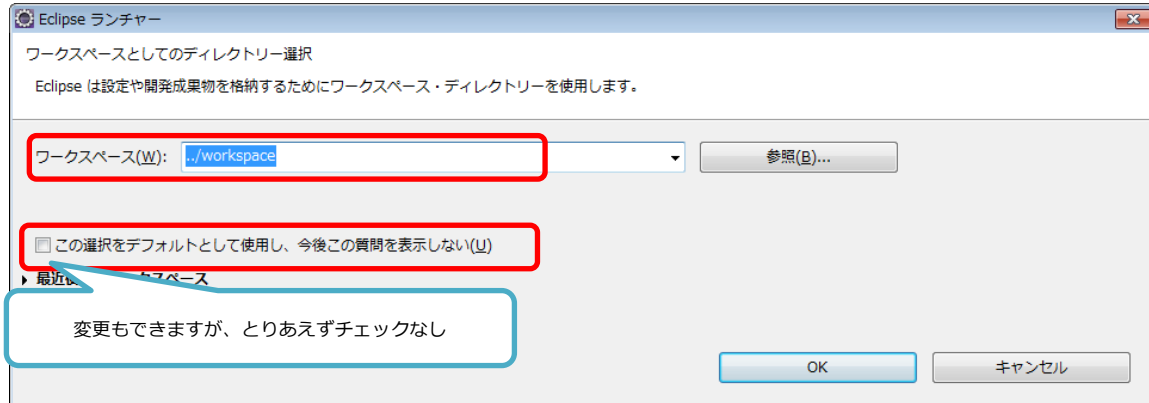
Eclipse♡設定資料

起動してすること

1 ワークスペースの指定

ワークスペースとは、Eclipse で作成されるプロジェクトが保存される場所です。

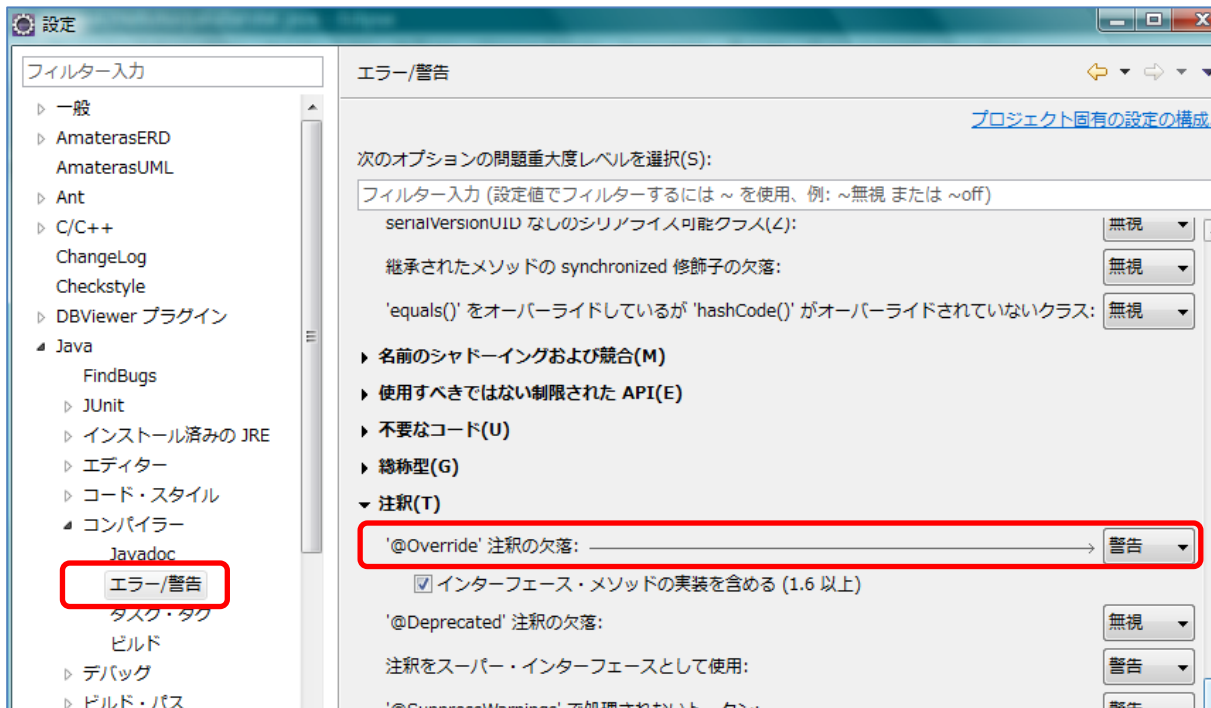
※自分の PC の中に workspace というフォルダで指定しましょう



2 警告の設定 (Window-設定)

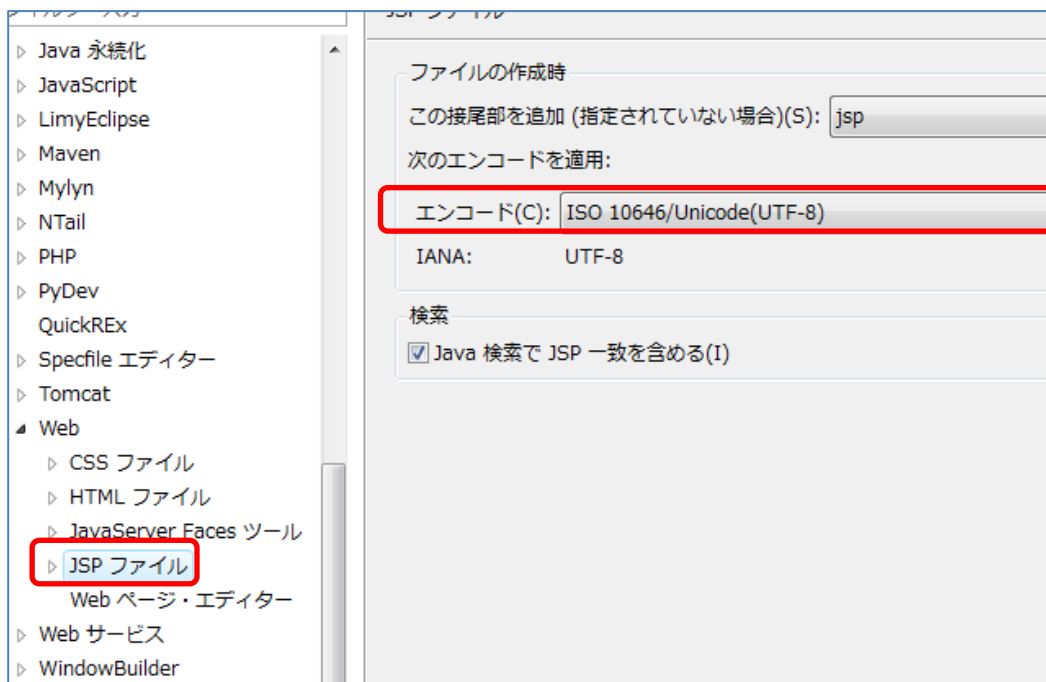
Eclipse では、様々なエラーや警告を出してくれます。

オーバーライドされたものにはアノテーション (@override) が必要です。コーディングし忘れていたら、警告で知らせてくれます。



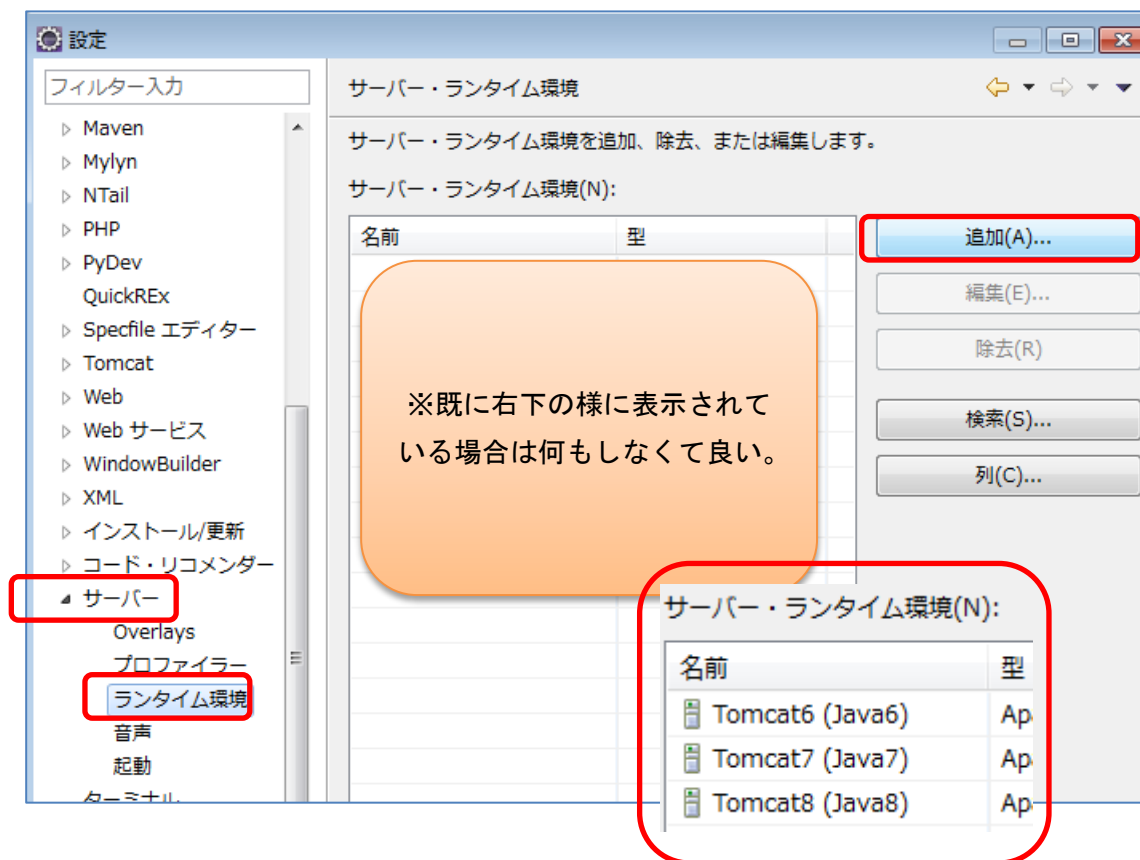
3 文字コードの設定

「Web→JSP ファイル」を開き、エンコードをプルダウンで選びます。
今回は、日本語表記にするために下記を選択しています。



4 サーバ設定

tomcat の設定を行います。「サーバー→ランタイム環境」を押下します。

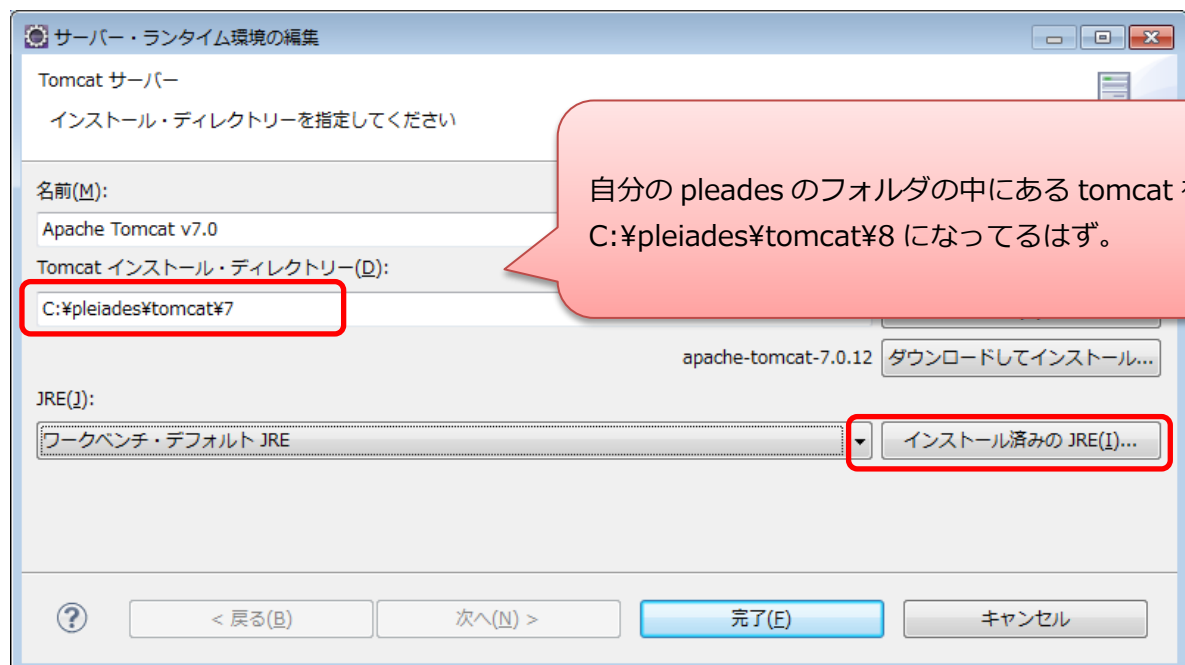


表示されていない場合は、追加を行う。

Apache Tomcat V8.0 を選択し、「次へ」を押下します。

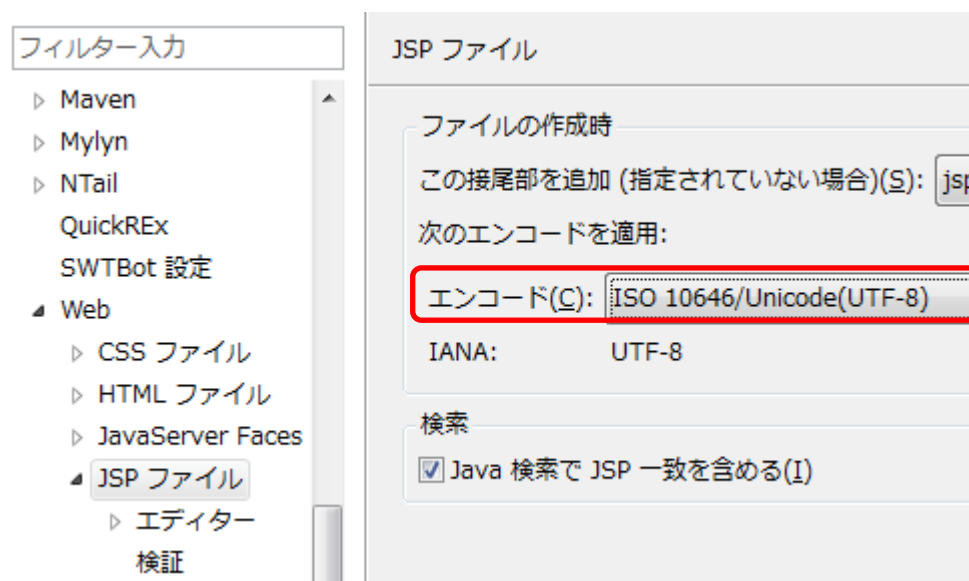


インストールディレクトリを確認し、「インストール済みの JRE」を押下します。



5 文字コードの設定。

「Web-jsp ファイル」を開き、UTF-8 を選ぶ。



java8 を選択し、「OK」を押下

インストール済みの JRE(J):

名前	ロケーション
<input type="checkbox"/> java6	C:\pleiades\java\6
<input type="checkbox"/> java7	C:\pleiades\java\7
<input checked="" type="checkbox"/> java8 (...)	C:\pleiades\java\8

JRE のプルダウンで java8 を選択し、「完了」を押下します。

サーバー・ランタイム環境の編集

Tomcat サーバー

インストール・ディレクトリーを指定してください

名前(M):

Apache Tomcat v8.0

Tomcat インストール・ディレクトリー(D):

C:\pleiades\tomcat\7

JRE(J):

java7

プルダウンで **java8** を選択

? < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)